肉磨其まゝの高級
ビクターレコード枚一、50錢
日本物と音樂
蓄音器針は
ビクター針先　35錢
一度御試聽下さい

ビクターレコード印

蓄音器・貴金屬
會田時計店
平町四（電三六三）

荷入服學中上極
一年生位　四圓五十錢
二年生位　四圓八十錢
三年生位　五圓十錢
平二　なかや洋服店　電二〇三

年末年始の御贈答品には
御化粧用
たいら石鹼は
体裁優美で價格低廉
三ケ入　金二十五錢
六ケ入　金五十錢
玩具文具
樂器糸類
食料玩具
森下商店
平町一丁目

内藏外科
骨關節外科
整形外科
産婦人科
專門藤本順
平町新川町
院長　**木村寅次郎**
外科
産婦人科
木村醫院
電話一六四番

高久病院
院長　醫學士　高久忠
副院長　新潟醫學士　赤羽清
藥局長　藥劑師　佐竹菊雄
平町田町　電話五一三番

年末年始の御用命は
銘酒　**乃家の誉**　瓶詰へ
平町四丁目平驛通り
永山酒造店小賣部
電話二〇七番

磐城セメント會社特約店
久谷屋商店
磐城平町五丁目　電話九番　一三九番
▽良品廉賣は勝る商畧なし△
▽確實敏捷は釜屋の生命なり△

原齒科醫院
平町土橋通り電話三一番

外科專門
外科　一般
內藏外科　花柳病科
安齋外科醫院
◎診療時間（午前八時より午後九時まで）（但し急患は此の限にあらず）
（入院隨意）
平町田町大通り電話四三六番

◇舊歲末謝恩特別興行◇
當る十七日より公開
プログラム
日活獨特悲喜劇
原作……木村惠吾　監督……伊奈精一
主演……小杉勇　澤蘭子
大川端夜話
芝で生れて神田で育つ魚屋正吉の花柳夜話
大日活代表傑作　寶玉篇
總指揮……池水浩久　監督……池田富保
山本嘉一　河部五郎　尾上多見太郎
外幹部出演
新作　**水戸黄門**　全廿卷
大衆映畫の製作に貢献する所ありし弊社十有餘年の歴史は、本篇が映畫界に君臨する太陽篇たるこを保證す規模壯大、諸設備全くなれる新太秦撮影所の現代科學の極致を以て製作に當たれる空前の大雄篇
吉例に依り普通席　金十錢
平館

移轉披露
顧客樣各位の御引立により業務擴張の爲め從來四丁目角の店舗は狹隘を感じ今回左記に移轉大々的に擴張し皆樣に酬ゆる事となりました
移轉擴張記念に特別大勉强
平町二丁目百七銀行隣り
福田屋ふとん店
鵜沼彦茂

常磐毎日新聞

一月十七日夕刊

日刊
發行兼編輯人　川崎文治
印刷人
本社ト同番地（電話六三〇番）
印刷所　常磐毎日印刷所

定價　一部金貳錢　一ケ月壹錢（郵稅五厘）
廣告料　五號十二字詰一行（五十錢）
休刊日　日曜大祭日　祝日ノ翌日
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話六三〇番

家座講座

子供の生活と清新なる娯樂（三）

仙台放送局の講演速記

川崎小鳥講述

まだ一月も十二日で御座いまして、何んとなく正月氣分の脫け切らぬ姿で居りますが、私共幼少の時分には、正月と云ひば、男の子は凧揚げ、女の子は羽根つき、さうした遊びに非常な喜びを感じたもので御座います、然るに近來は、どんな片田舍にも電線が張り渡され、自動車が飛び廻ると云ふ樣な次第で、凧を揚げるには電線が邪魔になりまたウッカリ羽根つきなんかをやって居れば自動車に突き飛ばされると云つた調子、從つて安心して夫等の遊戯にふける事が出來ません、その樣に遊びの場所は縮少されました、然るに子供本位の遊園地の設備と云ふ樣なものが全國々通じて幾ケ所御座いませうか。仕方がない、戸外では遊べぬ所から、その鬱を晴らさうとして、正月を幸ひ僅かな小使錢をねだつて活動寫眞を見やうとする、處が、大人の見る活動寫眞は子供に害があると云ふので、是れが容易に許されない、大人の見る活動寫眞を子供に見せない事は私も贊成です、然しながら、せめては大人の見る活動寫眞でも、間に合はせに見て樂しまふとする子供の前から、此活動寫眞を奪つた、その代りとしてより以上子供に清新な享樂を與へるに力あるべき娯樂機關を提供する親達が幾人御座いませうか、此點甚だ世の大人達は子供に對して無關心過ぎると申さねばなりますまい。

（續く）

炭礦勞働者の數
五萬が一萬に減る
經濟界不況の影響を受け　自然減少を示す

常磐炭礦界の好況時代には約五萬人の勞働者が働いて居り勞働賃銀も良く他の勞働者から羨望されたものであつたが經濟界不況の影響を直接に受けて炭礦界が營業不振に陷つて來てからは勞働者の數も自然減少を示し一昨年からは勞働爭議、各會社の畢業縮少等で勞働者の數が激減し昨年十二月末日現在で平署管内における大小各炭礦の勞働者を見ると男が一萬二百三十名、女が二千四百二十名、合計一萬二千六百五十名で昔日のおもかげは見られない程減少して居るが大炭礦の勞働者數は左の如くである

炭礦名	男	女	計
磐城	四、〇〇〇	九七〇	四、九七〇
入山一	九〇〇	三三〇	二、二三〇
三井一	一、八〇	六〇	一、二四〇
古河	六七〇	一三〇	八〇〇
小野田	六〇〇	二七〇	八七〇
小田	六三〇	一六〇	七九〇

磐城製糸工場は
春繭から繰業開始
工場竣工は三月中旬

片倉磐城製糸會社の始業は既定方針の通り同春繭より繰業に着手するため過般來から同會社建設敷地九千坪の地均し工事中であつたが同工事も愈々來る二十日頃完成することになり完成と同時に約十萬圓を以て工場の建設に着手する豫定で工場の竣工するのは三月中旬となる見込であると

坑夫組合に
加盟運動開始
日勞支部から

平町に支部を置く日勞黨では中央に於ける無産七黨の結成に基き同系坑夫組合に加盟を求むる筈で來る廿日頃石城郡好間村小田炭礦に此定期總會を開き更に廿七日鹿内郷村綴に於て同郷組合石城支部大會を催すべく計畫されてゐる

命がいらぬ
十五名の自殺者

平警察署管内に於て昨年一ケ年間に自殺した者は男七名、女九名であつた、この自殺者の原因を見ると女九名の中七名は離婚になつたのを苦にした者並に失戀した者であつたが、男は何れも病身のため前途を悲觀し或ひは極端な生活苦に惱んだ結果自殺した者のみであると

酒母の鑑評會
平稅務署主催酒母糀鑑評會は二十三日午前九時から同署樓上に開催出品者は管内五十餘の酒造營業者で相當盛會を豫想されてゐるなほ同署では同日午後二時から褒賞授與式を擧行

自轉車番號票の
取付期間を延長
十九日から廿一日迄

平署では過般來より自轉車番號票を四丁目平局敷地において所有者の自轉車へ取付け中のところ昨十六日を以て管内全部の取付けを了するとゝなつたので臺帳と比較したところ未だ取付けざる者が非常に多いので平署は十九日より二十一日まで三日間取付け期間の延長をなし取付けを行ふことゝなつた若し同期間中取付けざる者は斷然違反處分に附すると

殘灰の處分に
一萬二千圓
集灰所を建設

一日に何車となく出る磐關車からの殘灰處分に惱まされてゐた平機關庫ではいよ〳〵最新式の機械を設備して灰の處分を行ふとなり工費一萬二千圓を投じこの程集灰所の建設に着手した

洋服泥棒
捕る
助川に高飛して

住所不定双葉郡新山町大字目迫字愛宕下生れ無職窃盗前科四犯天野定正（ヨ）は舊臘中石城郡小野田炭礦の成田仁三郎方に忍入り折襟紺サージ洋服一組を盗んだ外綴坑合宿飯尾夕方々より紺羅紗マント一着を窃取し其他十數件の賊を働いたが賍品を處分せんと茨城縣助川町に高飛びした處を平署猪狩刑事に追跡同町で逮捕された

活花の若返り法

お花を活けましても度々新しく換るのは家庭によつてはかなりな苦痛のことです そこで、なるべくお花を永くもたせたいと思ふのは自然の考へでせう、どんな花でも十日か十五日もいたしますと大概は勢ひがなくなりしほれて參りますから永くもたせる爲めには何とかして若返り法を施さなければなりません。若返り法と申しましても別に難しいことではなく、お花をそつとはづして全体がかくれる程の深水につけ、三十分ばかりして取り出し、よく根を洗つて活け替るのです、この際根を少し切ると尚ほ更結好です、かうして活けかへますと、また新らしく活けたやうに勢ひがよくなり水々しい色艶を出して參ります

金成氏母堂
昨日長逝す

石城郡錦村植田水力電氣株式會社社長金成通氏母堂みつ子刀自は過般來風邪の氣味にて引籠もり靜養中のところ十五日深更病勢遽に革まり昨十六日午前三時半遂に長逝した、刀自は同村鷲家より金成家に入り夫君竹太郎氏に仕へて内助の功多く性同情心に富み四隣の德望を集めてゐたので一般から長逝を惜まれてゐる行年六十八葬儀は二十日正午より二時まで錦村の自宅において告別式執行佛式により大字中田原墓地に埋葬すると

▷▷▷▷▷
ヒロイモノ

▽平町田町古畑三男君は十七日掻槌小路で銀側懐中時計▽古鍛冶町菱川利雄君は十二日南町河岸にて腕時計▽仲間町麻生川顯君は同日元郡役所前にて一圓八十九錢在中の墓口▽平窪村小野武君は十一日平局前で五圓紙幣一枚を拾得夫々此程平署に届出た

最近式の方法で
土砂を排除する
昨日から小名濱港が
發動機船を以つて敏活に

小名濱築港の漁業組合前岸壁附近は昨年八月八日の大時化にて約千二百立方坪の土砂が堆積し爾來干潮時にあつては附近一帶に砂洲あらはれ

滿潮時に　おいてさへ尚ほ且水深四五尺に過ぎず從つて船舶の出入容易ならざるため漁獲物の陸揚その他につき不便少からざるものあるよりその筋においては漁業組合前にクリストマン浚渫機を傭へ四隻の土船を使用し浚泄土砂を港外

燈臺前の　海面へ運搬投棄しつゝあつたが運搬作業はことゞく人夫の力により別に機械力によらざりしため風波潮流等の關係から運搬船の操縱に堪へざる場合少からずその能率頗る貧弱にして浚泄事業開始以來五ケ月を經た今日尚僅に二百立方坪の運搬を了したるに過ぎず而も土砂はこの外新陳代謝的に

連日幾分　堆積をなしつゝあるので浚渫の最終目的を達すべく現狀を以て推移する時は所謂百年河清を俟つに均しき結果に到達するのでこの際從來の姑息なる方法を廢し更に强大なる施設により浚渫の迅速を期すべく工藤中土木

監督所長　によつて計畫せられたがこれに使用せんとして目論見たるバケット式浚渫機は現在使用しつつあるクリストマンの一日最大十三立方に對し優に二倍の能率有するも鹽釜より小名濱まで機械の運搬に往復八千圓の巨費を要するので實行上些か困難なる事情あり

且從來の　機を以てするも土砂の運搬にして敏速を期する事を得ば能率の增進蓋し至難でないといふ見込の下に從來の運搬方法に改善を加へ人力に代ふるに發動機船を以てしただに港外

土捨場と　の往復を簡便敏活ならしむるに止まらず浚渫機の使用に間隙なからしむるに以て所期の浚渫を行ふ事になつたので今後この方針により一日平均十立方坪宛の土砂を排除する時は現在約一千立方坪と概算さるる土砂は今後三ケ月有半にして大部の除去をなし得るものと觀られてゐる

船舶職員
講習
小名濱に開く

本縣水産會主催で來月十五日ころから石城郡小名濱町水産試驗場内に船舶職員講習會を會期三週間の豫定で開催するが同講習會は三月上旬同所内に遞信官吏出張の上施行さるゝ二十噸以上の船舶乘込船長機關士の資格試驗の前提講習會であるため非常な盛會を豫想されてゐるなほ同講習會は大体三年目毎に催しその都度資格試驗を行ふものであると